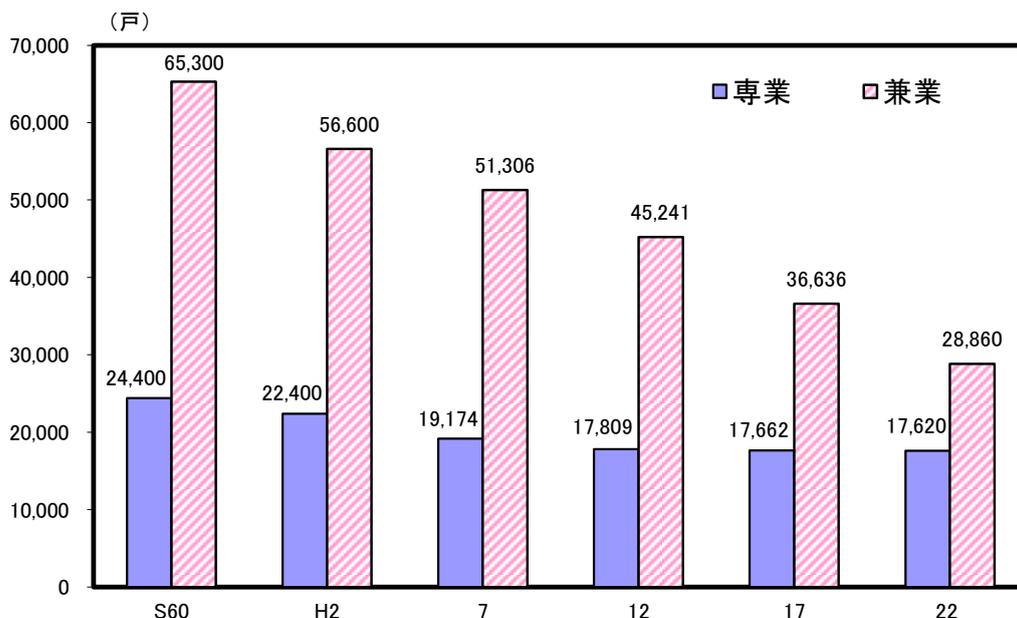


熊本県の専業農家数と兼業農家数の推移



解 説

【概要】

平成22年の県内総農家数は66,869戸で、前回調査時の平成17年から7,304戸(9.8%)の減少となった。減少幅には増減があるものの、一貫して減少しており、昭和60年の6割近くにまでなっている。

販売農家数は46,480戸で全体の7割を占めるが、前回から14.4%減少した。

販売農家を専業・兼業別にみると、専業農家は前回から0.2%減の17,620戸、兼業農家は21.2%減の28,860戸となっている。

販売農家の基幹的農業従事者の動向は、前回から10.9%減少し73,028人となった。年齢別では65歳以上が全体の51%を占めているが、全国平均の61%に比べると高齢化の度合いは低い結果となった。

食料自給率(カロリーベース)は、平成19年度から5年連続で61%だった。全国の39%より高くなっている。

○農家数

調査期日現在で、経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯、又は調査期日前1年間における農産物販売金額が15万円以上あった世帯数。

○販売農家数

経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家数。

○専業・兼業農家

専業農家とは世帯員の中に兼業従事者が1人もいない農家。兼業農家とは世帯員の中に兼業従事者が1人以上いる農家。

○専業農家比率

専業農家数÷販売農家数×100

○基幹的農業従事者

ふだん仕事として主に農業に従事している人。

○食料自給率

国内の食料消費が、国内の農業生産でどの程度賅えているかを示す指標。

○カロリーベース総合食料自給率

=1人1日当たり国産供給熱量÷1人1日当たり供給熱量

資料出所	調査期日	調査周期
*1,*2,*3「2010年世界農林業センサス」 農林水産省 *4「食料自給率資料室」 農林水産省	平成22年2月1日 平成23年度	5年 毎年